

【学校教育目標】 心豊かにたくましく地域と共に生きる児童の育成

楽しい学校は 自分でつくる みんなでつくる

一人一人のよさや可能性の伸長を支える教職員集団

①自己肯定感を育む

テストで100点！どのように声をかけますか？

100点を取るなんて、
(君は)すごいね！



毎日こつこつ
頑張ってたもんね。
(私は)感心したよ。

どちらのほめ方もあると思います。ただ、一方の伝え方が続くと、
子どもたちはどのような気持ちになっていくのでしょうか。

人より優れた自分
すごいでしょ！

対象者をほめる

結果をほめる

YOUメッセージ

他者からの評価 に価値

自分にもできることがある！
頑張ってたよ！

行為をほめる

過程をほめる

I メッセージ

行為そのもの に価値

行為・過程のよさ（頑張り、やる気、姿勢、工夫、
アイディア、粘り強さ、昨日よりすごいところ
等）を認めることで、児童の自己肯定感だけでなく、
レジリエンスや挑戦心が高まります。

③自己決定の機会を増やす

例えば、「保健室で身体測定」がある



- ・保健室へは静かに並んで行きます
- ・終わった時にはお礼を言います
- ・教室に戻ったら、読書をして待っています
- ・他のクラスの迷惑にならないようにします

覚えられ
ないよ～

質問に答えさせることで、自分で考えて行動できるようにする



これから身体測定に行くけど、どんなことに気を付けようか？

どうしてなのかな？

ろう下を静かに歩く

授業をしているクラスに迷惑がかかるから

ほかにもある？

保健室の先生にお礼を言う

授業の中で学び方を選択する、学級会で目標を決める等が思い浮かびますが、日頃教師から伝えている指示や注意を、やりとりの中で児童に考えさせることも自己決定につながります。

これらは生徒指導提要に示された、4つの生徒指導の実践上の視点を意識した働きかけとして、特に実践していきたいことであり、生徒指導の基盤である「発達支持的生徒指導」にもあたります。
これが西阿知小の生徒指導のスタンダードです。
全教職員で「指導5」を実践しながら、児童の成長を支えていきましょう！

②共感的な人間関係を育む

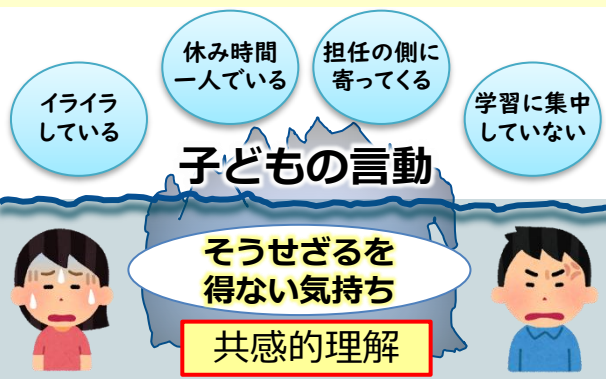
教科指導
の視点で見ると
対話的な学びの
実現に向けた活動
＜目指す子どもの姿＞
自己の考えを
広げ深める



生徒指導
の視点で見ると
共感的な人間関係
を育む場
＜目指す子どもの姿＞
互いの考えを
肯定的に認め合い、
尊重する

学校の中で最も長い時間を使う授業は、共感的な人間関係を育むチャンスであふれています。生徒指導の視点ももち、ペアやグループ活動等を行いましょう。そして「拍手が自然に起きていてとても素敵です」「友達の考えをうなずきながら聴いていて素晴らしい！」など、共感的な気持ちが高まる教師の声掛けで価値付けをしましょう。

④安全・安心な風土をつくる
(確かな児童理解・人格の尊重)



氷山に例えると、目に見え聞こえる子どもの言動はほんの一部です。見え聞こえる言動だけにとらわれず、水面下にある「そうせざるを得ない気持ち」を感じ取り、共感的に理解しようとする教師がいると、子どもたちの安心感は高まります。

⑤安全・安心な風土をつくる
(環境整備)



整頓されていないロッカーや本棚、教室の床に落ちたごみやプリントなどを放置すると、児童に「教室をきれいにする必要はない」「誰かが片付けてくれるだろう」といった誤った意識が生まれ、より乱れていきます。児童が安全・安心な気持ちで生活できるよう、常に秩序と整然さが保たれた教室であるようにしましょう。